

川本中学校 学校便り

川本町立川本中学校 2月号
2024（令和6）年2月29日(木)

〒696-0004 島根県邑智郡川本町川下1112番地
TEL 0855-72-0408 FAX 0855-72-1762
E-mail info@kawamoto-jhs.kawamoto-town.jp

令和5年度学校評価から見た課題と手立てについて①

昨年末に「生徒アンケート」、「保護者アンケート」を実施させていただきました。毎学期実施している「職員評価」と合わせて、結果を分析し、来年度に向けて、改善できるところから取り組んでいます。今回はアンケート結果と分析の主な内容を紹介させていただきます。

1 生徒アンケートより

<成果と強み>

- ICT機器や図書館での学び合いの授業が定着し、生徒たちに浸透していることが伺えます。特にICT機器の使用頻度は、昨年より高くなっています。ICT支援員や学校司書との連携を一層図り、高い肯定値が続くよう努めてまいります。
- 友だち関係の項目で、高い肯定値を示しています。生徒は、行事（体育祭、文化祭）や生徒会の常時活動等で「やってみたいこと」に意欲的に挑戦しました。プラス言葉の発信や、充実した生徒会活動が展開でき、信頼関係の再構築や、絆づくりが深まったととらえています。
- 「学校の職員は、自分の話を聞いてくれたり、様子を見て気にかけてくれるなどして、自分のことを理解しようとしてくれている。」「学校の職員は、学習面や生活についてサポートしてくれている。」の2項目が、1学期（前期）2学期（後期）とも90%以上の肯定値でした。しっかりと関わってもらっているという安心感が評価につながっているととらえています。

<課題と改善策>

- 地域の方との活動は、主に「総合的な学習の時間」で取り組んでいます。実態としては、昨年度より多く地域に出るなど交流活動が増加していますが、来年度は、生徒自身が体感できるしかけをより推進してまいります。
- 家庭学習の充実については、学年で数値に差がみられました。学習方法の周知や意欲喚起につながる情報発信を継続する一方、来年度は発想を転換し、タイムマネジメントと健康教育の視点から、主体的な家庭学習推進につなげる取り組みを実施していく予定です。
- メディアの使い方に関しては、今年度に限らず課題として掲げられています。新たな試みとして2学期より「メディアコントロール週間」を設け、生徒と保護者の方とで一緒に取り組んでいただきました。こちらも、タイムマネジメントの視点から生徒自身が考える取り組みを推進してまいります。

2 保護者アンケートより

<肯定的評価が高い項目について>

- 環境整備等の学校環境の項目について高い肯定率を示しています。保護者や生徒の目線に立ち、「安心して通わせる学校」、「安心して通える学校」づくりに力を入れていきます。

令和5年度学校評価から見えた課題と手立てについて②

2 保護者アンケートより

- ・「生徒は、友だちと協力しながら生徒会活動や行事に取り組んでいると思う」、「生徒はお互い思いやりをもって生活していると思う」といった項目で昨年同様、高い肯定値を示しています。また、人権学習に関連した2項目についても80%台の肯定値を示しています。学校経営の基本方針の中核部分の取組に対する成果の一つと感じております。今後も生徒の思いに寄り添った教育活動を、家庭・地域と創っていきます。

<肯定的評価があまり高くない項目について>

- ・家庭学習の項目については、60%台の肯定値に留まっており、習慣があまり定着していないという結果になりました。定期テスト期間中には、希望者による放課後学習会を行っているのですが、定期テスト期間中に限らず、学習に取り組む姿勢が家庭でも続くよう、生徒自身の気づきにつながる対策を実施してまいります。
- ・メディアの使用に関する項目では、「家庭でメディアの使い方について話す機会がある。」の肯定値が87%であるのに対し、「生徒はメディアの使い方について気をつけていると思う。」の肯定値が49%でした。保護者と生徒の間でメディアの使用に関する項目の肯定値に違いがあります。課題の一つとしてとらえ、今後、対策を考えていきたいと思えます。

<記述の内容について>

- ・マチコミメールの活用方法についてご意見をいただきました。現在、緊急連絡やお知らせなどをマチコミメールで行っています。他の媒体の検討を含め、活用方法を協議してまいります。
- ・部活動についてご意見をいただきました。地域移行等について報道等で取りあげられていますが、川本町（教育委員会）とは随時協議中です。必要に応じて情報発信してまいります。
- ・下校に関してご意見をいただきました。できるだけ早く下校時刻やバスの時間をお知らせしたいと思えます。また、外灯の設置状況等の安全面にも配慮し、今後、関係機関と連携を図りながら改善に向けて検討していききたいと思えます。
- ・生徒の服装（冬季）についてご意見をいただきました。体育館での行事や式典でも、寒い時は防寒着を着用して活動しています。形式にはこだわらず、登下校も含めて、その場で最も温かい服装を選択するよう伝えております。共通理解を図っていききたいと思えます。

3 まとめ

5月8日にコロナに関するルールが変わり、『スクラップ&ビルド』の視点で教育活動の見直しをすすめてきました。そんなこの一年、意識して取り組んできたことは、「ポジティブ言葉」、「やる気アップ」、「生徒の主体性」をキーワードに、生徒の「こんなことやってみたい」という思いを大切に、新しい挑戦を積極的に支援することでした。また、同時に「温故知新」という言葉も紹介し、人に尋ねる、学ぶ、先人の考えを書籍等で理解することの大切さも紹介し、幅広い視点から物事を考え、判断し、行動することを提案してきました。おかげさまで、行事や部活動など、多くの変化や成果を保護者の方や地域の皆様に好意的に受け止めていただき、たくさんの温かい声かけをいただきました。この声かけが、一番の「やる気アップ」の源と考え、心から嬉しく思い、感謝する毎日でした。これからも、生徒の思いを大切にしながら、保護者の方や地域の皆様に応援していただける学校をめざし、わかりやすい言葉で伝えることを引き続き意識し、諸活動に取り組んでまいります。来年度もよろしく願いいたします。